

(令和4年7月分)

種 類	市況の概況
(水産物部の動向) 水 産 物 全 般	7月は業務需要の回復が見られていたが、海外における需要の伸長による冷凍魚や加工水産物の入荷量の減少と後半期の新型コロナウイルス感染再拡大に伴う需要の減少により、総入荷量は前年同月比で18%下回り、総取扱金額は4%上回った。 8月は、アジがおいしい季節である。家庭でも食卓によく並び、広く認知されているが、刺身や塩焼きはもちろん、南蛮漬けやなめろうなど、様々な食べ方があるため、この機会に試してほしい。他にも、鮎やタコなど、夏に旬を迎える水産物も多く、旬な海の幸を食べて、暑い夏を乗り越えてほしい。
鮮 魚	鮮魚の入荷量は、前年同月比で17%下回り、単価は34%上回った。 品目別には、はまち（天然）、すずきの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。よこわの入荷量は前年同月を上回り、単価は下回った。
冷 凍 魚	冷凍魚の入荷量は前年同月比で20%下回り、単価は18%上回った。 品目別には、冷あかうお、冷さけの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。冷まあじの入荷量は前年同月を上回り、単価は下回った。
加 工 水 産 物	加工水産物の入荷量は前年同月比で17%下回り、単価は13%上回った。 品目別には、塩さば、ちりめんの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。丸干ししゃも、干ささかれの入荷量は前年同月を上回り、単価は下回った。

※ 鮮魚には、貝類、淡水魚を含む。

主要品目	市況の概要
(鮮 魚) ま あ じ	長崎、愛媛、和歌山で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で54%下回り、単価は56%上回った。
ま い わ し	千葉、鳥取で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で20%下回り、単価は40%上回った。
さ ば	長崎、佐賀で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で5%上回り、業務需要の増加で単価は8%上回った。
す る め い か	石川で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で64%上回り、単価は9%下回った。
太 物	総入荷量は前年同月比で12%下回り、単価は21%上回った。
は も (近)	兵庫、徳島、愛媛で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で11%下回り、単価は53%上回った。
た こ	兵庫、岡山で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で33%下回り、単価は39%上回った。

※ 太物：まぐろ、きはだ、めばち

主要品目	市況の概要
(冷凍魚)	
冷 さ ば	入荷量は前年同月比で４％下回り、単価は２０％上回った。
冷 す る め い か	入荷量は前年同月比で４９％下回り、単価は２０％上回った。
(加工水産物)	
塩 さ け	入荷量は前年同月比で３３％下回り、単価は３２％上回った。
開 干 あ じ	入荷量は前年同月並みであったが、大型物の水揚げ減少による値上がりから単価は６％上回った。

※ 塩さけ：塩白さけ、塩銀さけ、塩紅さけ